



第73回 奈良県高等学校総合体育大会 陸上競技の部

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2020年 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、雨天練習場に設ける。
- (2) 招集の方法については次のとおりとする。
 - ① 競技者は、プログラム記載の招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスの点検を受ける。腰ナンバーカードは競技者係から配布されたものを使用すること。
 - ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目については棄権したものとみなして処理する。
 - ③ リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙に、上下とも記入のうえ招集所へ提出し、控えを受けとること。オーダー用紙の提出がない場合、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
 - ④ 棄権する場合は、必ず点呼前に招集所に欠場届を提出すること。欠場届は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。
 - ⑤ 代理人による最終点呼は認めない。多種目同時に出場する競技者は、1種目目の招集時に所定の「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)

3 競技について

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にアスリートビブスをつけなければならない。ただし、跳躍種目の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技について
 - ① トラック競技はタイムレースで行う。
 - ② 短距離競走では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- (3) フィールド競技について
 - ① 男子走幅跳においては、Aピット(試技順 No.1~14・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.15~28・トラック側)の2ピットで行う。
 - ② 三段跳びの踏切板は、男子は 11m00 と 13m00、女子は 9m00 と 11m00 に設置する。

4 走高跳・棒高跳について

バーの上げ方は下記のとおりとする。

走高跳	男子	(練習) 1m50 1m80	1m55-60-65-70-75-80-83 以後 3cmずつ
	女子	(練習) 1m25 1m50	1m30-35-40-45-50-53 以後 3cmずつ
棒高跳	男子	(練習) 3m70 4m50 5m00	3m80-90-4m00 以後10cmずつ 4m60以後 5cmずつ
	女子	(練習) 2m50 3m00 3m50	2m60-70-80 以後10cmずつ 3m30以後 5cmずつ

※ 1位が同記録の場合、走高跳は2cm、棒高跳びは5cmのバーの上げ下げで決定する。

5 競技用具について

- (1) 競技用具は、ポール・やり以外は競技場備え付けのものを使用すること。
- (2) やりの検査を希望する者は、競技開始時刻の70分前から60分前までの時間に用器具庫(100mスタート地点横)に持参すること。

6 競技用靴について

- (1) トラックとフィールド助走路は全て全天候舗装のため、スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。また、スパイクピンの本数は11本以内とする。
- (2) 靴底の厚さは、800m未満のトラック種目(ハードル含む)においては 20mm以内、800m以上のトラック種目においては 25mm以内とする。



第73回 奈良県高等学校総合体育大会 陸上競技の部

7 一般的注意事項

- (1) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内の横断や通過はしないこと。
- (2) 応援は必ずスタンドで行い、立ち入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (3) スタンド・更衣室等は常に清潔保持に努め、ゴミ等は各校で責任を持って持ち帰ること。競技会終了後の清掃は清掃当番表に従って行うこと。
- (4) 貴重品・荷物等は各自・各校で責任をもって管理すること。
- (5) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。

重要 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する注意事項

- (1) 会場内では、主催者から配られた胸章(リボン)を、見えるところに必ず付けること。
- (2) 会場では、アルコール消毒液などの準備はするが、各自の責任で、マスク着用・うがい・手洗いなどの感染防止対策を徹底すること。
- (3) 近距離での会話や発声を避け、応援など大きな声を出すことは控えること。
- (4) 投てき競技のすべり止め等は、各自で準備すること。

※ もし、競技会終了後2週間以内に、感染の疑い・感染等が確認された場合は、速やかに、必ず主催者に報告してください。